

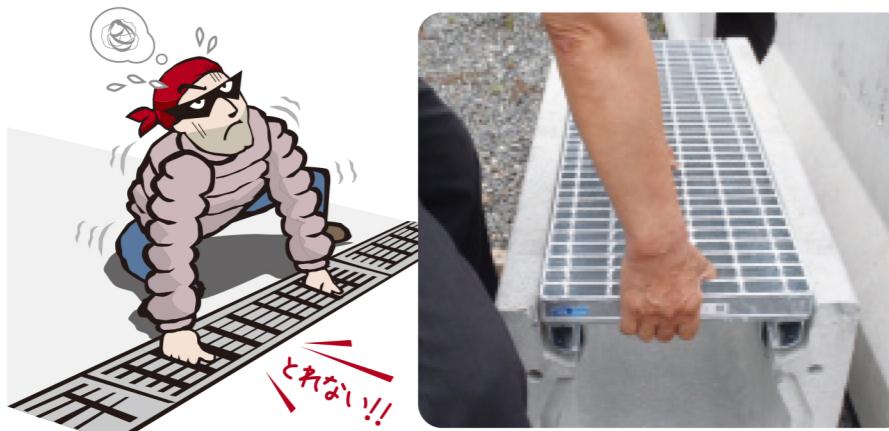
FXドレーンの形状を生かした盜難防止グレーチングの特徴

金属の価格高騰により、グレーチングの盗難が全国的に多発しています。盗難されたグレーチングは、車両が側溝に落ちるなど、人的被害に大きく影響を及ぼします。特に人通りの少ないところで多発しているようです。

これまで、様々な盜難防止策(ボルト固定・チェーン結合など)を取っても、その構造が分かるとその構造に対応して被害に合うのが現状でした。そこで「なぜグレーチングが外れないのか? 上から見ても構造が分からない!」製品を開発しました。

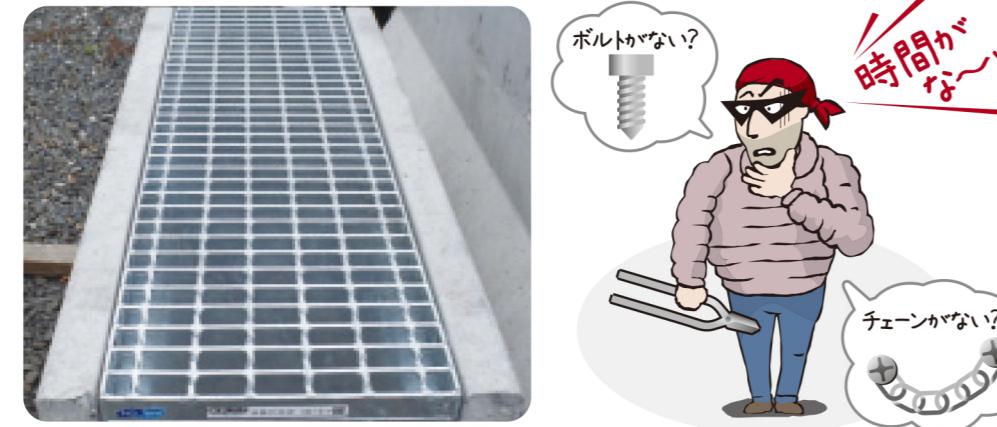
A 側溝内部との引掛けを設けることで、 グレーチングを持ち上げることができません。

グレーチングの裏側に、盜難防止金具(コストの安い平板状の金属片)を溶接固定しています。箱形U字側溝内面の下広がりの斜面に、この盜難防止金具が引っかかる状態でグレーチングがセットされるため、持ち上げることができます。



B 外観は落とし込みグレーチングとの 見分けがつかない。

盜難防止金具は、厚みのあるグレーチングメインバーの下側に溶接されるため、上から見ただけでは何の仕掛けもない、単にグレーチングが乗せてある構造にしか見えません。構造がシンプルなため、逆に盜難防止の仕掛け、仕組みが分かり難く、盜難時に時間を要し、盜難をあきらめる可能性が高まります。



C 付属金具がなく、容易に取り付けができます。



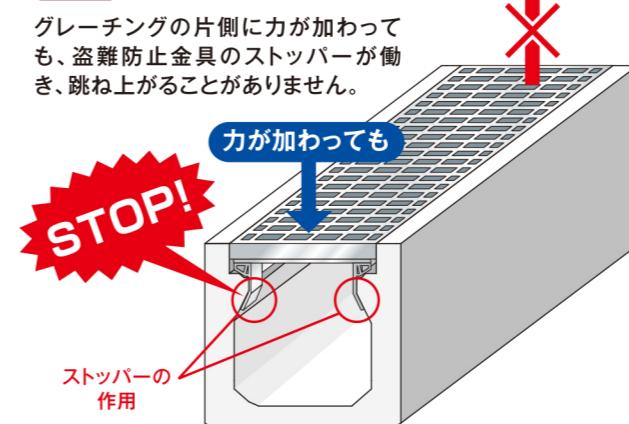
ボルト固定や
チェーン取付
などの作業が
不要です。

盜難に関して、從来からさまざまな対策・抑止金具等が開発されてきましたが、多くの問題点・欠点、

- ボルト固定やチェーンは、上部から仕掛けが分かり、重機等によって破壊(ボルトを引き抜く、チェーンを切る)し、盜難される。
- ボルト固定やチェーンなど部品点数が多いため、コストが高くなる。
- 部品が多いと設置に時間がかかり、作業効率が悪くなる。
- ボルト穴にゴミ等がたまりやすい、鎖は異物が引っかかりやすいなど、その効果、効率、管理等に多くの問題点が指摘されてきました。

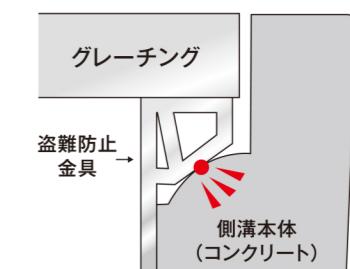
従来の盜難防止
グレーチングの
問題点・欠点を解決!

D 跳ね上がり防止

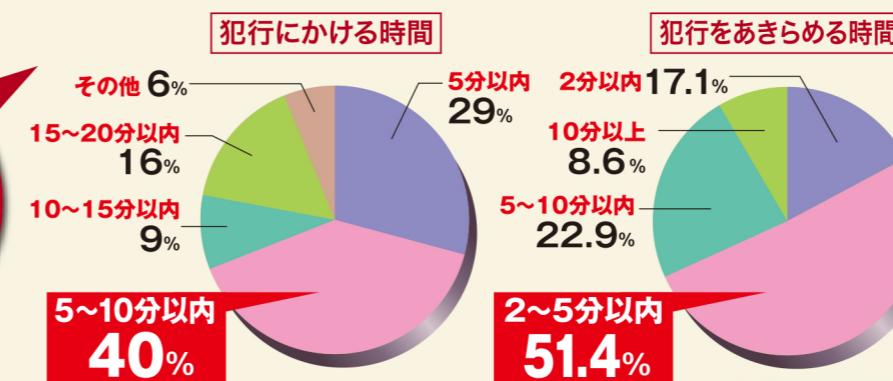


E 消音タイプ

側溝コンクリート部分とグレーチングの金具の接触部分に、曲面構造を採用。金具とコンクリートの接触面積が少ないので消音設計です。



参考資料 「捕まえた泥棒意識調査」による犯行をあきらめる時間(警視庁による逮捕者への調査結果)



グレーチングをとりたいが、
どうやって取るか悩んでいるうちに
時間がかかってしまい
諦めてしまいます。



出典：警視庁生活安全部資料、都市防犯研究センター資料